

『魅せる』『伝わる』色彩コミュニケーション!!

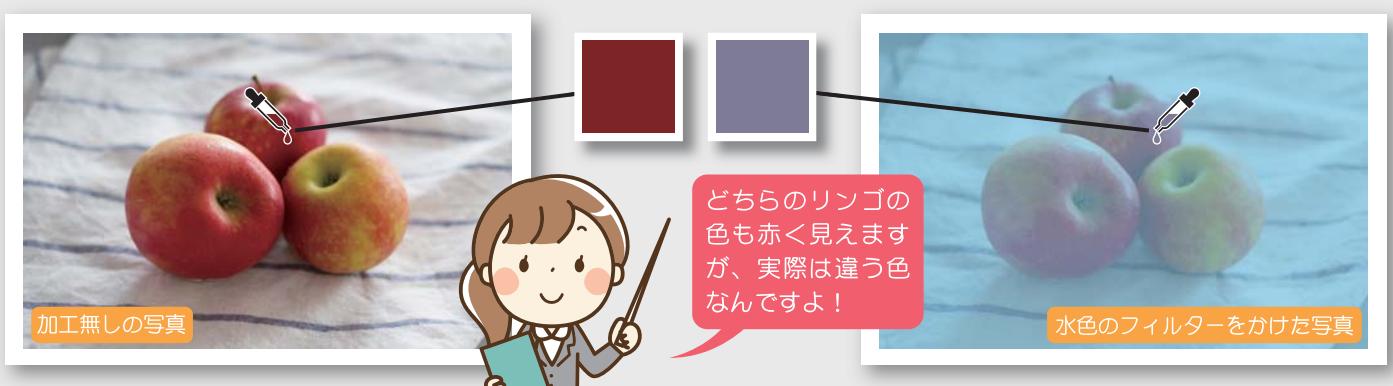
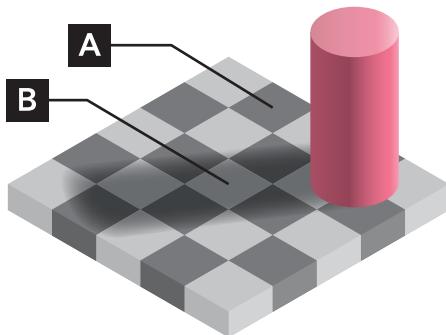
目の錯覚によって色の見え方が変わる!?

右のイラストは『チェックカーシャドウ錯視』という錯視(=目の錯覚)現象を表したイラストです。影の外にあるAと影の中にあるB。実はどちらのタイルも同じ色なのですが、にわかには信じがたいですよね。

錯視には、全て同じ長さの線が違って見えるミューラー・リヤー錯視や、並行な線が傾いて見えるツエルナー錯視などの様々な現象がありますが、今回は色に関する錯視について紹介していきます！

日常生活で物を見る場合、錯視効果で暗く見えたり、色味が強く見えたりすることもありますが、色相の認識に関してはあまり錯視に影響しません。それは『色の恒常性』という脳の動きがあるからです。

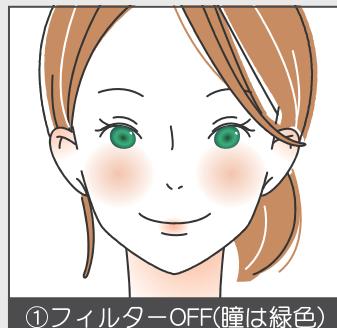
色の恒常性とは、人が物を見る際、無意識に光の影響を補正して色を見ようとする視覚の働きのことです。例えば以下のように、リンゴの赤色を、照明が変わっても同じ赤色に見えるように脳が勝手に補正してくれているということです。



初めに紹介したチェックカーシャドウ錯視も色の恒常性による錯覚です。A(グレー)とB(薄グレー)が同じ暗さになっても脳ではBが薄グレーだと認識しているため、Aと同じ色と認識されません。

そして、カラコミュvol.10の『イロイロ雑学』で紹介しているドレスの色が違って見える現象も色の恒常性によるものです。なぜ「黒×青」「金×白」と意見が2つに割れてしまったかというと、写真やイラストでは環境光がよく分からぬことがあります。脳が間違って補正をかけてしまったことによるものです。

右の3つのイラストは、左右の瞳の色が同じ緑色になっています。②③は左半分と右側の瞳部分にフィルターをのせています。フィルターをのせることにより左右の瞳の色は同じになっているはずですが、左側の瞳は



変わらず緑色のままですね。これは色の対比効果により、脳が瞳の本当の色(フィルターをのせる前の色)を知覚しているからです。この場合、もともとの瞳の色が緑と知らなくても緑色を認知することができます。

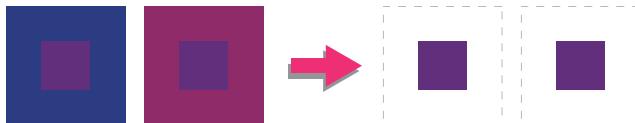
脳が補正することによって正しい色が見えるようになることもあります。逆に本当の色が分からなくなってしまうこともあるなんて…。色の恒常性、とても不思議な現象ですよね！

デザインの種

今回のテーマ：
「色同士が与える影響とは？」

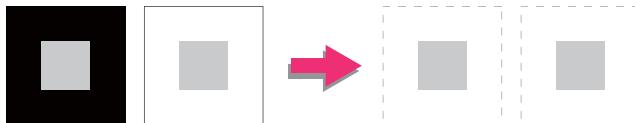
より相手に伝わりやすいデザインを作るには、色づかいに配慮する必要があります。過去のカラコミュでも色が別の色に与える影響についてお伝えしてきましたが、今回は色の対比によって起きる見え方の例を紹介します！

・・・色相対比・・・



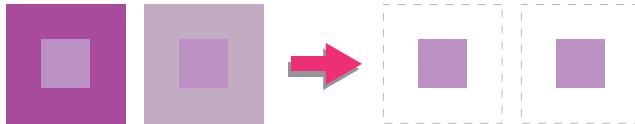
中央の紫は同じ色だが、背景色に影響され左は青みが
かって見え、右は赤みがかって見える。

・・・明度対比・・・



中央のグレーは同じ色だが、黒に囲まれている左側の
グレーの方が明るく見える。

・・・彩度対比・・・



中央の薄紫は同じ色だが、鮮やかな背景色に囲まれた
左側は彩度が低く見え、右側の方が鮮やかに見える。

・・・補色対比・・・



中央のオレンジは同じ色だが、オレンジの補色である
青色に囲まれた右側の方が彩度が高く鮮やかに見える。

このように、色と色が影響し合うことで同じ色でも全く違って見えることが分かりますね！

色の対比の中で、最もデザイン作成の際に利用しやすいのは「補色対比」の効果です。右の例では、青系色の補色である黄色系の色を使っています。補色対比を利用することで、互いの色が引き立ち鮮やかな印象になるので、チラシを見た人の視線を惹きつけるこ

とができる配色となっています。補色対比についてはカラコミュvol.14でも詳しく紹介しています。他にも、カラコミュvol.3で紹介したメインカラー・ベースカラー・アクセントカラーを意識した配色がおすすめです。

日頃デザイン作成をする際は、色の対比による見え方の影響は実感しにくいと思います。もし配色に困ったり違和感を感じたりした時は、可能性の1つとして思い出してみてくださいね。



イロイロ雑学

車の事故率は、車体の色によって違いがあることをご存知ですか？ある統計によると、最も安全な色はシルバーであるという結果が出ています。シルバーは明るい系統の色で、メタリック加工をしているものが多いため反射しやすく目立ちやすいと言われています。逆に、最も事故に遭いやすいと言われているのがブルーです。ブルーは癒し効果があり後続車のドライバーの気が緩んでしまうことや、後退色のため遠くにいるように見えてしまうからだそうです。他にも様々な色の車がありますが、レッドやイエローは目立ち、ブラックは高級そうに見え警戒することから事故率が低いと言われています。ただ、夜間・悪天候の際は暗い色の車は目立ちにくくなるため注意が必要です。



色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを！

次回も

Let's カラコミュ！！